

地域包括ケアの地区展開 令和6年度 北沢 地区アセスメント

人口	面積 (k㎡)	人口 (人)	人口 密度 (人/k ㎡)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率(%)	年少人 口(人)	年少人 口率 (%)	世帯数 (世帯)	平均世 帯人数 (人)	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持者		障害サービス受給者	
										高齢単 身者世 帯数	高齢者 のみ世 帯数	その他 高齢者 がいる 世帯	世帯率 (%)	内高齢 単身・ 高のみ 世帯率	認定者 数(人)	認定率 (%)	身体障 害者手 帳	愛の手 帳	自立支 援給付	障害児 通所給 付	
	0.979	18,424	18,819	3,697	20.07%	1,408	7.64%	11,885	1.55	2,768	1,356	659	753	23.29%	16.95%	936	25.32%	323	54	86	39
傾向																					
北沢地区の面積は28地区で最小であり、人口密度は区内でも上位にあることから、狭いエリアに多くの人々が居住している地区と考えられる。高齢化率、高齢者がいる世帯数など、高齢者に関する数値については、概ね区全体の数値と近いことから、地区内において極端に多くの高齢者が住んでいるということではない。高齢者のみの世帯も他地区と比較して少ない傾向にある。																					
地域活動	町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数				社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録者数	生活支援体制整備事業協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数	主な活動団体とその取組内容									
			サロン	子育てサロン	ミニデイ																
	8	10,764	20	17	2	1	4	14	48	1	3	地区社協や民生委員が地区の方々と協力して運営する、高齢者見守りネットワーク「ココロンさくら」では、毎月1回サロンを開催し、毎回60名前後の参加者がある。また、スマートフォンを通じた交流会「下北スマホる一む（高齢者サロン）」を毎月1回、認知症当事者と認知症の方を介護している関係者を対象とした「認知症カフェ」を、定期的に開催している。									
生活支援	地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム	うち、特定施設入居者生活介護	障害者・児 通所系・共同生活介護等							
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム														
	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	特別養護老人ホーム「きたざわ苑」							
障害相談支援機関・相談支援事業所																					
医療	医療機関、訪問看護等																				
	下北沢病院、訪問介護ステーション「きたざわ苑」、訪問看護「直宮医院」																				

	児童館	代田児童館
	その他、児童施設	北沢子どもの居場所「きたっこ」
	おでかけひろば	おでかけひろばぼっこ、alulu
子ども・教育	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	近隣には区立池之上小学校、区立下北沢小学校があるが、北沢地区内には小学校は存在しない。
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	区立北沢中学校、松蔭中学校 その他、近隣には区立富士中学校がある。
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	松蔭高等学校、下北沢成徳高等学校
	保育施設	若竹保育園、北沢みこころ保育園、スマイルキッズ下北沢保育園、スマイルキッズドレミファ保育園、東北沢ききょう保育園、シルス北沢保育園、育成幼稚園
	子どもに関するその他の事項	
	子ども食堂など：しもきたキッチン 北五食堂 タパシエスタ 永正寺子ども食堂 障害のある子どもの通所施設：スタジオそら	
	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
その他支援	東北沢つどいの家、さら就労塾@ぽればれ、エイト、COS下北沢	
公共施設	図書館	図書館カウンター下北沢
	地区会館、区民集会所など	北沢地区会館、下北沢区民集会所、北沢南区民集会所、北沢区民集会所

住 まい ・ 環 境 ・ 防 災	主な公園・緑道・広場	あおぞら公園、北沢公園、北沢一丁目公園、北沢一丁目丘の上公園、北沢三丁目公園、北沢四丁目公園、北沢五丁目わかたけ公園、2000ねん公園、北沢さくら広場、北沢4-23広場、北沢五丁目児童遊園、玉川上水第二緑道
	土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）	
	<p>北沢1～5丁目からなり、区の北東端に位置し、北は渋谷区、東は目黒区に接している。小田急線と井の頭線が下北沢駅で交差しており、地区が四分されている。下北沢駅周辺は、商店が密集する繁華街であるとともに、北沢タウンホールをはじめ劇場やライブハウスが多く、文化・情報の発信地として発展している。</p> <p>その外側には閑静な住宅街が広がっているが、私鉄開通や関東大震災後の急激な市街化に伴い、細街路や木造密集住宅地が多く存在する。</p> <p>地形的には、北部に玉川上水緑道、東部に三田用水跡、中央部（北沢中学校から代沢まちづくりセンターにかけて）に水路跡や緑道があり、これらは北沢の地名にもある「沢」の部分でもあるため、高さの低い土地となっている。</p> <p>地区内に公営住宅がなく、大規模なマンションも少ない。</p>	
	交通の便に関する事項（鉄道・道路）	
	<p>鉄道は、小田急線・京王井の頭線「下北沢駅」のほか、小田急線「東北沢駅」、京王井の頭線「池ノ上駅」、京王線「笹塚駅」がある。</p> <p>道路は、井の頭通り、茶沢通り、補助26号線があるが、細街路も多い。路線バスは、北沢タウンホールと三軒茶屋駅間（駒沢陸橋行）のほか、渋谷駅から笹塚循環バスが井の頭通りを通っているなど、鉄道と併せて新宿や渋谷へも近く、交通の便は良好である。</p> <p>小田急線連続立体交差事業に関連する整備状況について、交通結節機能の強化と駅周辺の防災性の向上などを図るため、整備を進めている下北沢駅前広場では、広場周辺の歩道舗装や植樹などの整備を順次進めており、令和7年度完成を目指している。</p>	
産業に関する事項（買物・商店街などを含む）		
<p>下北沢駅周辺には6つの商店街がある。商業施設もあり、東北沢駅と下北沢駅間には「リロード」、下北沢駅と世田谷代田駅間には「ボーナストラック」、駅前の井の頭線高架下には「ミカン下北」がある。</p> <p>地区内の高低差が大きく、急な坂道も多いため、特に北沢1・3・4丁目付近の居住者は、坂を下り下北沢駅周辺まで買い物に行く必要があり、特に高齢者などには負担となっている。</p> <p>井ノ頭通り以北の北沢5丁目エリアは、京王線笹塚駅周辺の商業施設を利用しているが、高低差はないものの駅までの距離が遠い。</p>		
防災 → 各地区の地区防災計画を参照		

地区ビジョン

『文化と生活の交差点、子どもから高齢者まで誰もがいきいきと安心して暮らせるきたざわのまち』

課題、取組みの方向性

1. 【課題】

高齢者への見守り

【取組みの方向性】

地区内の団体や地区住民が運営する、高齢者見守りネットワーク「ココロンさくら」を引き続き定期的を開催し、地区の高齢者の参加を促し、見守り活動を進めていく。

2. 【課題】

認知症への取り組み

【取組みの方向性】

認知症の当事者及び認知症に関わる家族等の集える場所として「認知症カフェ」の定期的な開催を継続する。

3. 【課題】

下北沢駅周辺の美化活動の推進

【取組みの方向性】

地区の商店街や町会などと連携して、防犯パトロールやクリーン作戦パレードを通して、びんや缶、たばこなどのポイ捨て防止など下北沢駅周辺の美化に向けた活動へ引き続き取り組み、「安心して暮らせるきたざわのまち」づくりを進めていく。

地区課題解決の取組み

参加と協働の地域づくりの取組み内容

- ・各種活動を行ううえで、人・物は重要な「資源」であることから、現在も10歳代から90歳代の方々が登録している「地区サポーター」の活動を支えていくとともに、地区社協事業への協力要請やまちづくりセンター主催事業へのサポートなど、活動の確保・提供する体制の整備を進めていく。
- ・商店街や町会、地区内の各種団体などと行政が一体となって、まちの美観を損ねるポイ捨てや落書き、喫煙マナーの向上などに取り組みながら、文化・情報の発信地「シモキタ」の発展を見守っていく。